

## シエンタ モデリスタ バージョン

## リヤプロテクター取付要領書

品番:MSD13-52002

設定型式:MXPC1#G-M#X#B/MXPL1#G-M#X#B 設定グレード:スロープ付き以外の全グレード

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
本書は、リヤプロテクターの取付要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

## 取り付け上の注意事項

- 取り付ける前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- 走行後の純正マフラー大変高温になっています。冷めないまま作業を行なった場合、火傷などの重大な危険性があります。必ず純正マフラーが完全に冷めたことを確認してから作業を行なって下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際、間違えない様に配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様に注意して下さい。
- 商品の仮合せ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施下さい。
- リヤプロテクターを取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭きとって下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、**必ず一方向に拭いて脱脂して下さい**。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、**必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい**。(PACプライマーN-200を本品に添付)
- (重要)** プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- (重要)** ■ 両面テープは、外気温が20℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、特に白色塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)で完全に拭き取って下さい。
- ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。) ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、イソプロピルアルコール(IPA)で脱脂をきちんと行なって下さい。
- (重要)** ■ 両面テープの圧着を十分に行なって下さい。49N(5kgf)以上

## 取り付け完了後の点検・注意事項

- リヤプロテクターが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、リヤプロテクター及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、**最低24時間**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。(両面テープの剥がれ、車両バンパーとリヤプロテクターとの間に隙間が発生するおそれがあります。)



アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品

① >PP<

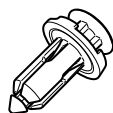


No.	品名	個数
①	リヤプロテクター	1
②	クリップナット	2
③	クリップ	4
④	PACプライマー N-200	1
⑤	穴あけ用型紙	1
⑥	取付要領書	1

②



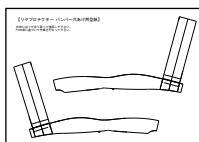
③



④



⑤

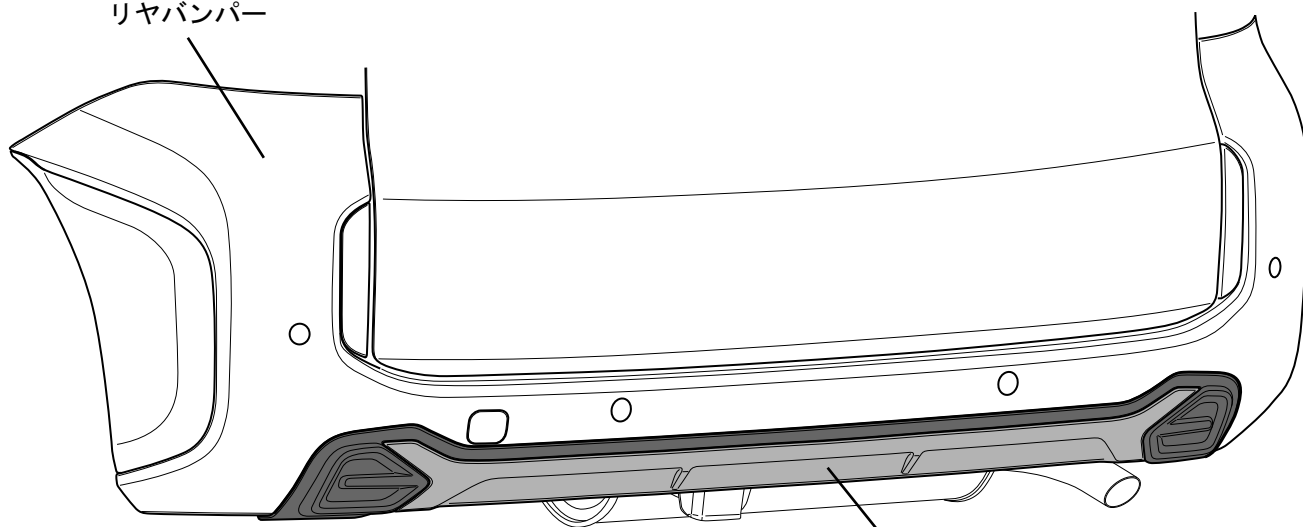


⑥



取付概要

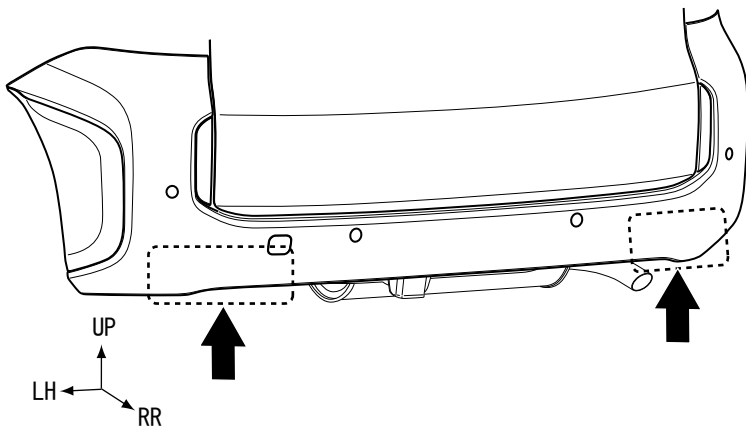
リヤバンパー



①リヤプロテクター

# 取 付 手 順

## (1) 取り付け準備



※図示はLH。RHも同様の作業を行なってください。

1. リヤバンパー下面に⑤穴あけ用型紙を左図の要領で位置決めし、マスキングテープ等で貼り付ける。

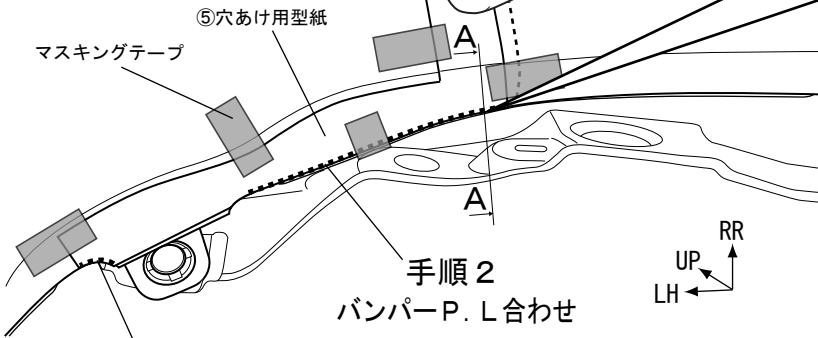


### アドバイス

型紙を面沿いに合わせて下さい。  
浮きが出ると穴位置にズレが生じます。

### リヤバンパー 下から見た図

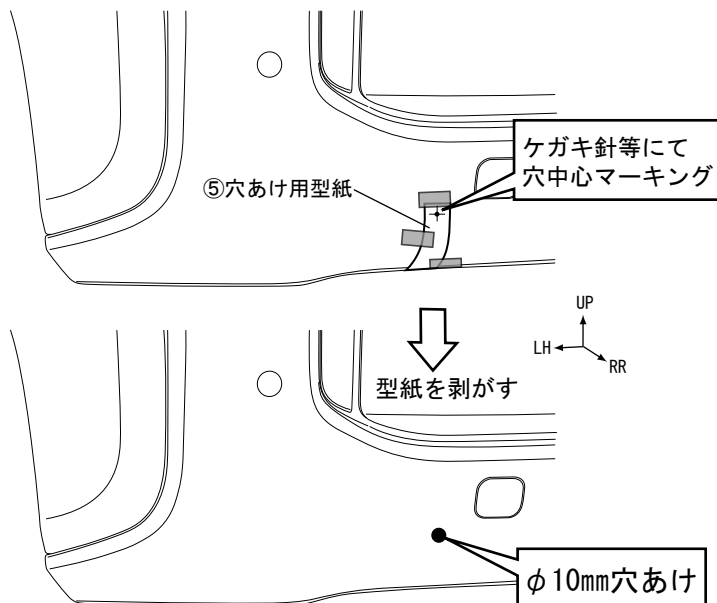
※図のようなマスキングテープ位置で型紙を貼り付ける



浮きが出ないように指でなぞりながら面に沿わせる

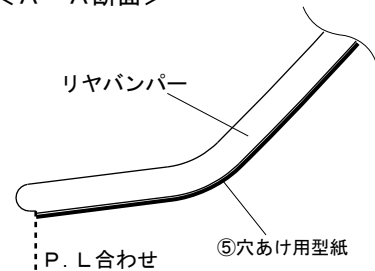
### 手順2 バンパーP.L合わせ

### 手順1 バンパーP.L合わせ 初めに位置を合わせる



※φ3→φ6→φ10mm

### < A-A断面 >



2. ⑤穴あけ用型紙の穴センター部に下穴をあける。



### アドバイス

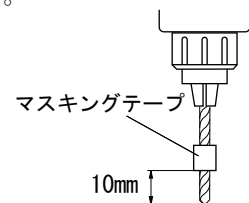
下穴をあける際は、穴の中心を狙い、ケガキ針ないしは、画鋏を用いて行なって下さい。

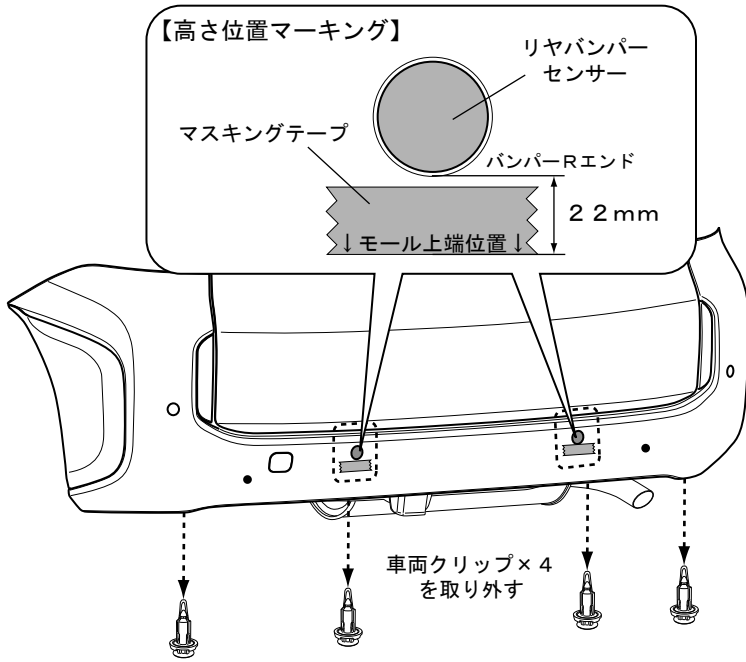
3. 型紙を剥がし、指定の穴径で穴をあける。(左図参照)



### アドバイス

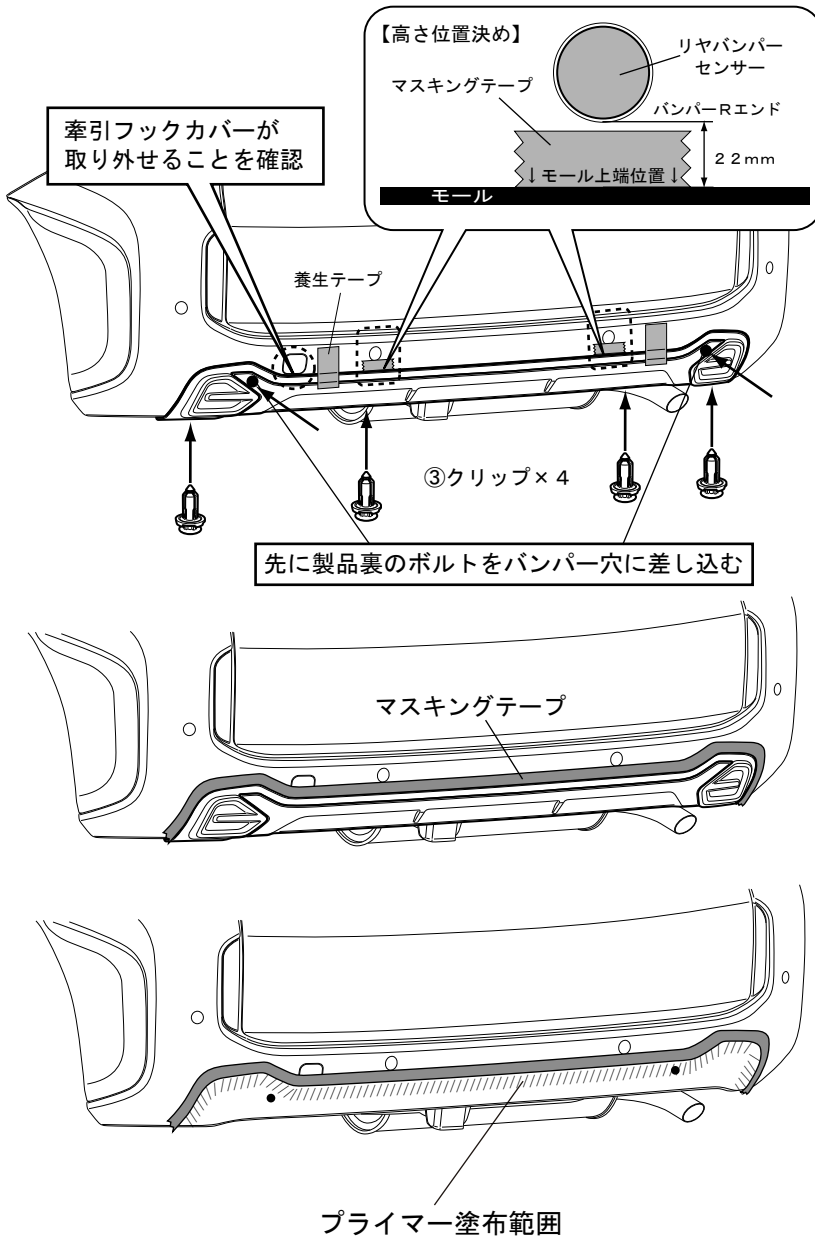
- ・穴をあける際は、φ3mm→φ6mmの順で下穴をあけた後、φ10mmで穴あけを行なって下さい。
- ・穴あけ作業の際は、ドリルの刃にマスキングテープ等で貫通防止策を施して下さい。





4. リヤバンパーのセンサー穴下 22mmに高さ位置決め用のマス킹テープを貼り付ける。(左図参照)
5. リヤバンパー下面の車両クリップ4ヶ所を取り外す。(左図参照)

## (2) 仮組とプライマーの塗布



1. ①リヤプロテクターをリヤバンパーにかぶせ、取り付け位置を決め、養生テープ等で仮固定した後、下面のヒンジ部4ヶ所を③クリップにて固定する。(左図参照)

2. スポイラー外周にマス킹テープを貼り付ける。

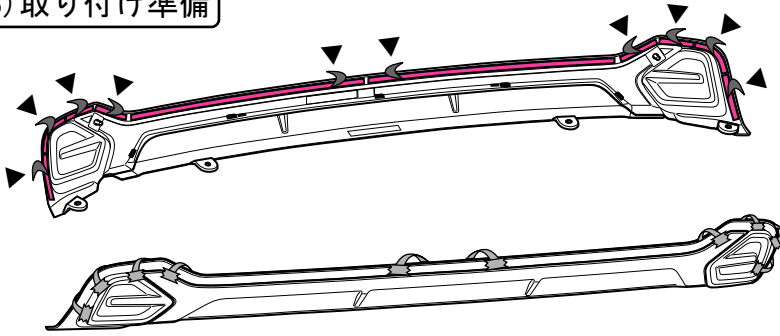
3. ①リヤプロテクターを一旦取り外し、両面テープ貼り付け部(左図斜線部)を一方向に清掃・脱脂する。

4. 両面テープ貼り付け部(左図斜線部)に④PACプライマーN-200を塗布する。

### 👉 アドバイス

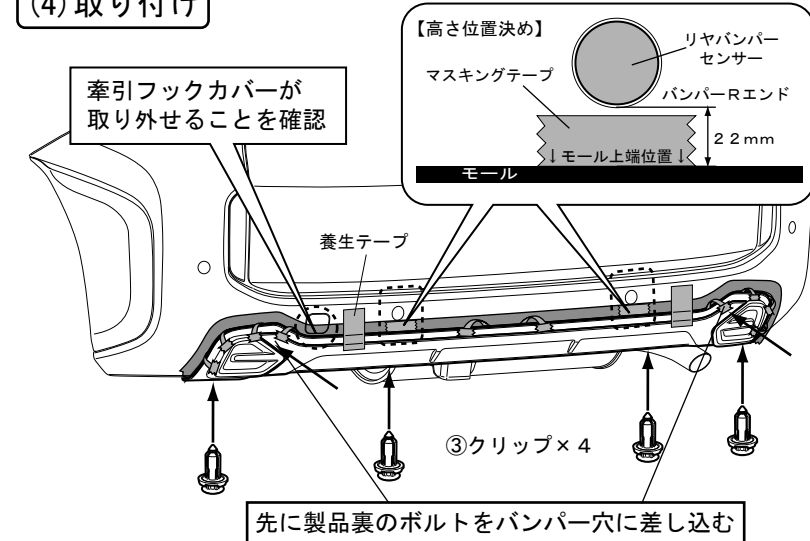
- ・ PACプライマーN200は特に白色塗装面を黄変させますので、マス킹するか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・ PACプライマーN200塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ ボディーコート処理されている車両は、マス킹をして両面テープ貼り付け部分をコンパウンドで除去して下さい。

(3) 取り付け準備



- ①リヤプロテクターの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。(10ヶ所)

(4) 取り付け



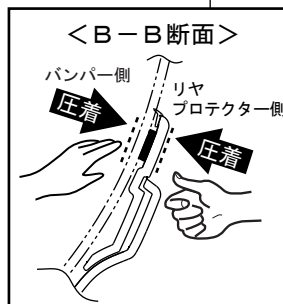
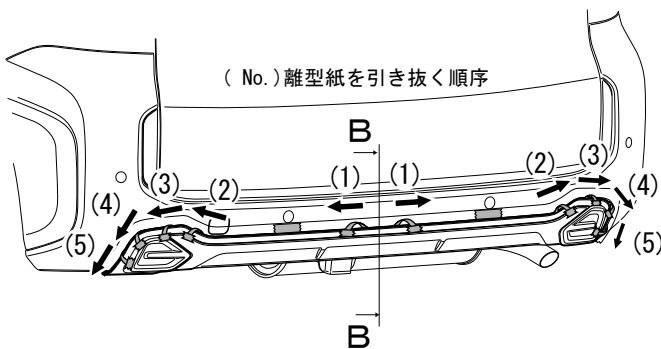
- ①リヤプロテクターを左右のボルトをバンパー穴に差し込みながらリヤバンパーにかぶせ、取り付け位置を決め、養生テープ等で仮固定した後、下面のヒンジ部4ヶ所を③クリップにて固定する。(左図参照)

- 両面テープ離型紙を左図の(1)～(5)の順に引き抜きながら外側に向けて圧着する。

※離型紙を引き抜く際に、①リヤプロテクターの取り付け高さが変わらない様に注意して下さい。

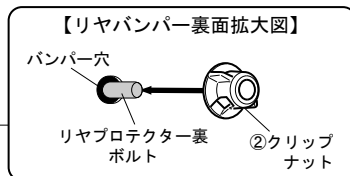
アドバイス

- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。
- 離型紙が途中で切れない様に、①リヤプロテクターを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
- 両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行って下さい。



！圧着のポイント

両面テープ接着箇所はバンパー内側に手を入れて、挟み込むように圧着して下さい。(左図A-A断面参照)



- リヤバンパー裏に手を入れて、ボルト差し込み部2ヶ所を②クリップナットにて固定する。(左図参照)

- ①リヤプロテクターの浮き・剥がれがないかを確認し、再度両面テープ貼り付け面を圧着する。

<重要>

- 全てのマスキングテープをはがす。



## 参考

- 補修キット(品番:MSD80-52H09)を使用してリヤプロテクターの取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付けて下さい。(製品裏面に両面テープ貼り位置ケガキ有り)  
※両面テープを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマー(PACプライマーK-500相当)を塗布して下さい。

